

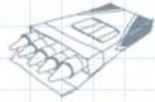
PRESENTATION

【政治経済】 第16回

**“望ましい社会保障”の
在り方を考えよう！**

【目標】

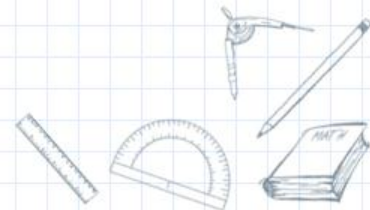
社会保障制度の制度と、国家間の違いを学んだ上で、望ましい在り方を考察する。



PRESENTATION

前回の授業では、社会保障とは、私たちの人生の様々なリスクに対応するための制度であることを学びました。その社会保障には、租税教室で学んだ「共助」の考え方が生かされています。

さて、みなさんは前回のDVDの内容をどれだけ理解できているのでしょうか？



導入

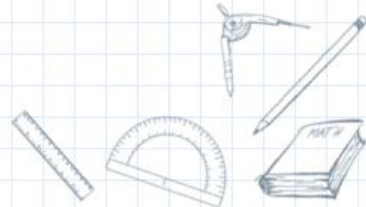
“社会保障”とは...何でしたっけ？



PRESENTATION

そこで...

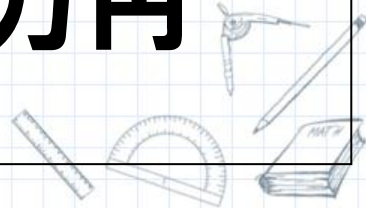
社会保障
「高校生クイズ」



**第1問****Q1.**

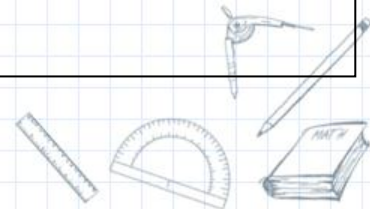
部活中に骨折して、入院・手術...。あなたは窓口で保険証を出して3万円を支払いました。もし、保険証がなかったら、いくら支払うことになるでしょう？

6万円 9万円 10万円 15万円



**第2問****Q2.**

「年金」の保険料は20歳から払いはじめます。それでは、年金の受け取りについて、「20歳から受け取る場合もある？」

ホント**ウソ**



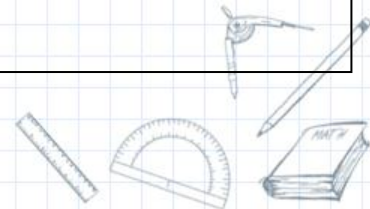
第3問

Q3.

持病があったり、高齢者になると、公的医療保険には入れないことがある。

ホント

ウソ



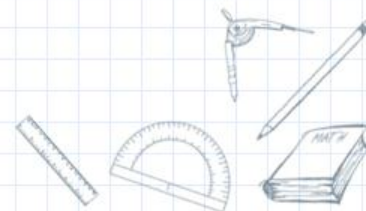
復習

“社会保障”への最初のトビラ



PRESENTATION

例えば...

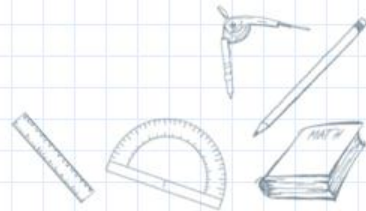


1 “社会保障”とは...何でしたっけ？



PRESENTATION

今回の授業は、最初に人生における様々なリスクを考えます。【子ども期】、【成年後(労働期間)】、【老齢期(退職後)】でどのような“リスク”が考えられるでしょうか。



1. 公的医療保険(健康保険)

2. 失業保険

3. 介護保険

4. 年金保険

成人期

- ✓ 可能な限り自立した生活となるよう様々なリスクに対する保障を行う
- ✓ 重層的なセーフティネットで支える
- ✓ より子どもを生み、育てやすい環境を整える

出産・子育て支援

妊産婦健康診査
育児休業制度
各種子育て支援策 等



親の介護や
扶養が必要に
なったら...

私的扶養等

退職

公的医療保険(健康保険)

病気・けがの治療

3

介護が必要な方の
生活を支援

4

老後の生活の支え

障害年金

障害者福祉サービス

地域社会での安心した暮らし

就職

結婚

出産

病気やけが
の時は...

公的扶養等
(負担軽減)

就労中事故
に遭ったら...

公的医療保険(健康保険)

病気・けがの治療

労働者災害補償保険(労災保険)

業務上の事故を補償

失業したら...

失業時のサポート

2

ハローワークの就職支援
雇用促進(若者・女性・障害者)
求職者支援制度 等

- ✓ 子どもの健やかな育ちを支える
- ✓ 子育てを応援する

認定こども園
保育所
幼稚園

予防接種
乳幼児健康診査

児童手当

放課後児童クラブ

就学

出産育児の費用の支援
病気・けがの治療

1

生活保護

どうしても生活が
困窮したら

医療扶助、生活扶助などの給付
受給者のための就労支援

高齢期

- ✓ 老後の生活の安定を支える
- ✓ 住み慣れた場所での安心した暮らし



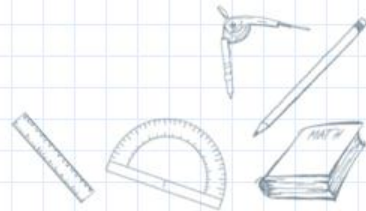
2

“社会保障”の果たす役割



PRESENTATION

ここで、前回から学んできた社会保障制度についてまとめてみましょう。





「社会保障」とは...

憲法第25条で「生存権」が規定されて以降、日本の社会保障制度は大きく発展し、様々な仕組みが整備されてきた。

その中心は、主に**社会保険料**を財源とする「社会保険」であり、**租税**を財源とする「社会福祉」や「公的扶助」、「公衆衛生」などがそれを補足している。



2

“社会保障”の果たす役割



市場経済

→貢献度に応じて所得を得る

社会保障制度

→必要度に応じて所得を再分配

社会保障制度は、私たちが市場での貢献度に応じて得た所得を、必要度に応じて修正する『所得の再分配機能』を果たしている。



pixta.jp - 5081054



G : 政府(Government)

F : 家族(Family)

M : 市場(Market)

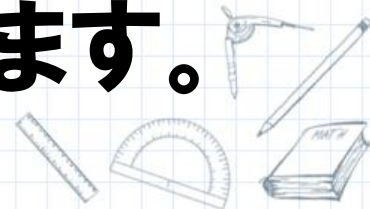




PRESENTATION

今見てきたのが、社会保障制度の一例ですが、社会保障制度による「サービス」を実現するためには、「財源」、つまり、みなさんの「負担」が必要です。

もう一度、プリントNo. 11を見てください。社会保障制度の「お金」と「サービス」の関係は、どの程度がいいのかを考えてきましょう。●を付け、理由を考えます。



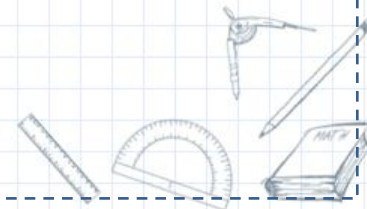
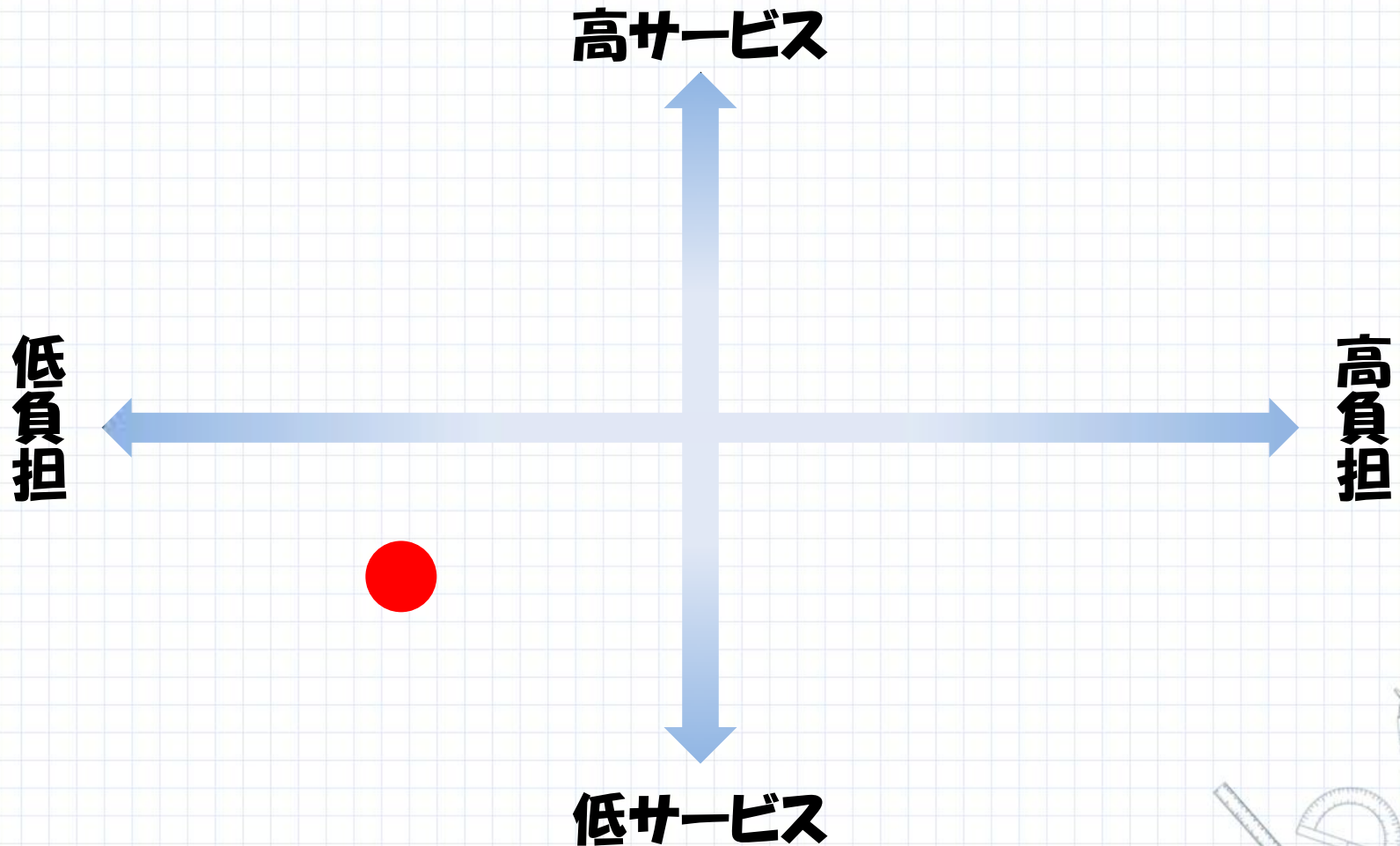
2

“社会保障”の果たす役割



PRESENTATION

例えば、「低負担」で「低サービス」を望めば...



3 “社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION

さて、今までは「社会保障制度」の学習を進めてきました。どの国でも、子どもやお年寄りの面倒をみたり、病気を治療したりといったサービスは、何らかの形で確保されています。

しかし、国によって異なるのは、“**誰が担うのか**”ということです。今回、プリントではそれを「日本」、「スウェーデン」、「アメリカ」に分けて考えてみます。

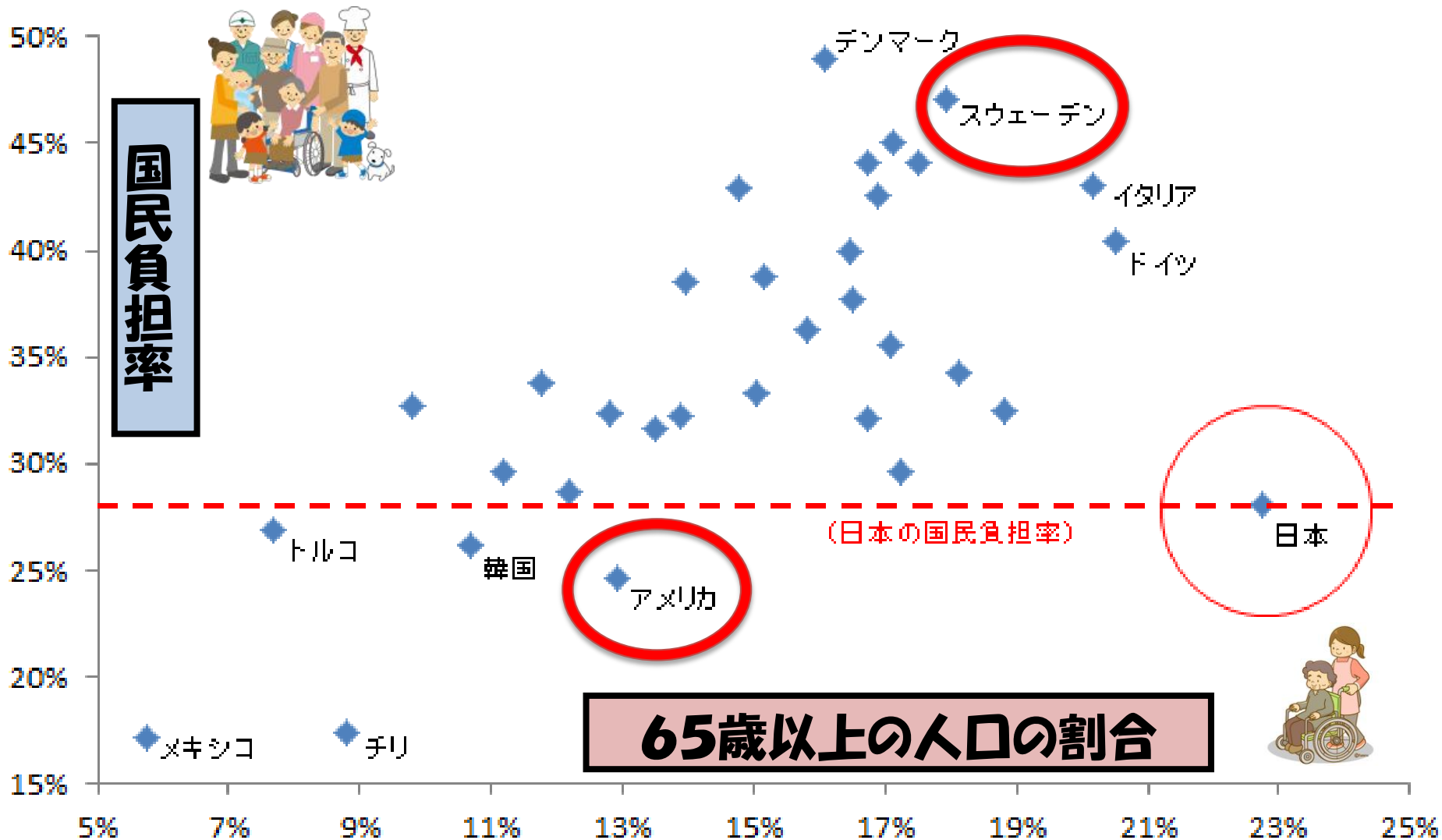


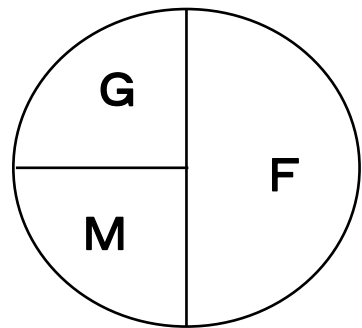
3 “社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION

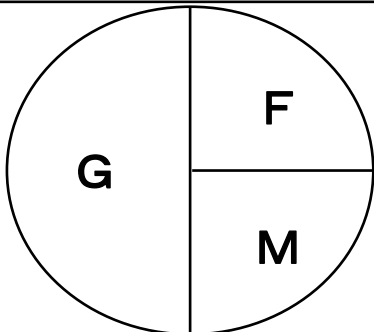
高齢化率とGDP比国民負担率（2009年）





家族(F)依存型

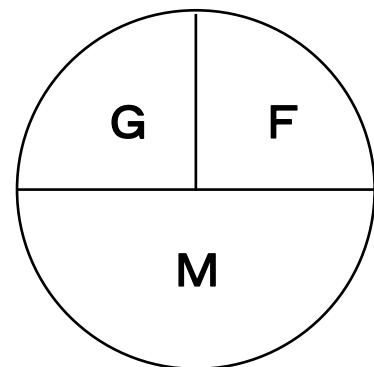
- 国民負担率は低い。
- 家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会。



政府(G)依存型

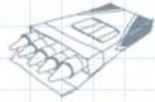
スウェーデン

- 国民負担率は高い。
- 政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会。



市場(M)依存型

- 国民負担率は低い。
- 福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会。(高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある)



スウェーデン

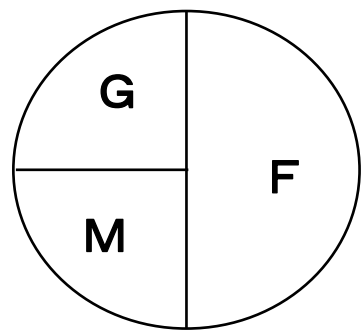


高負担

国民負担率は59.0%
= 100万円のうち、59万円負担

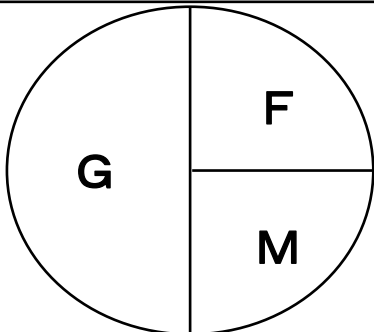
高福祉

- ① 高齢者福祉の充実（高齢者特別住宅、在宅ケア）
- ② 育児政策の充実（育児休業、児童手当、保育サービス）
- ③ 大学院までの授業料が無料など



家族(F)依存型

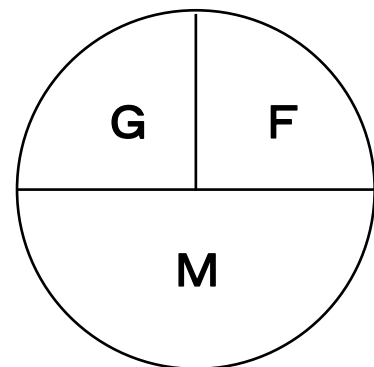
- 国民負担率は低い。
- 家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会。



政府(G)依存型

スウェーデン

- 国民負担率は高い。
- 政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会。



市場(M)依存型

アメリカ

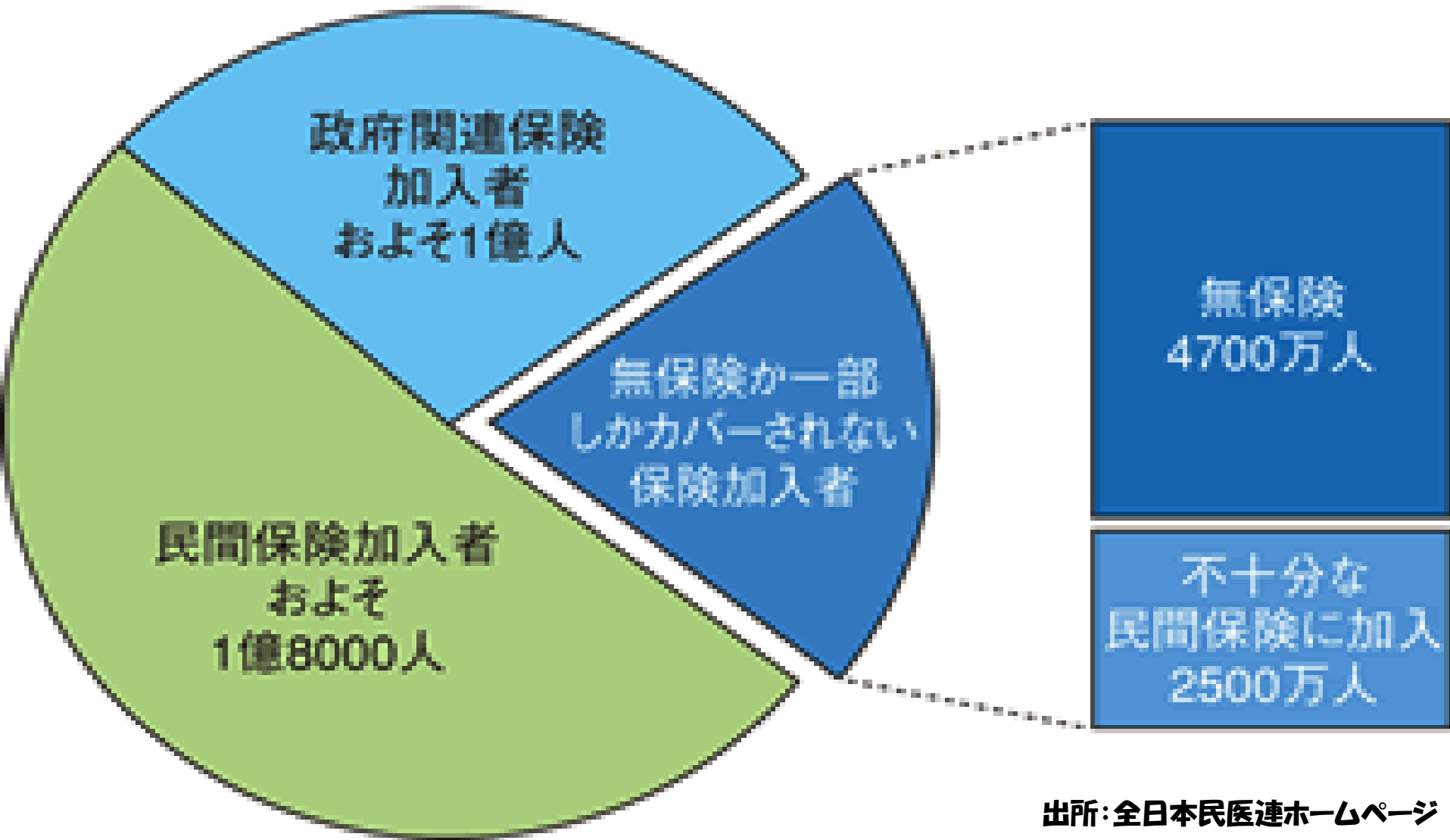
- 国民負担率は低い。
- 福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会。(高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある)

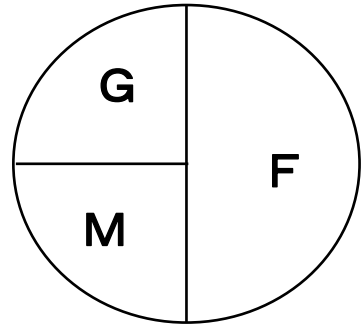
3

“社会保障”の在り方を考えよう。



アメリカ人の医療保険状況

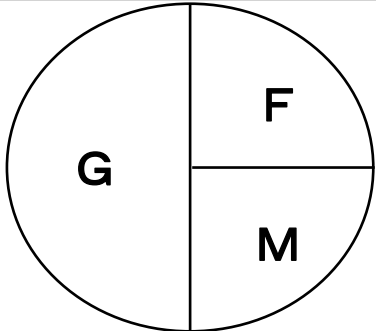




家族(F)依存型

日本

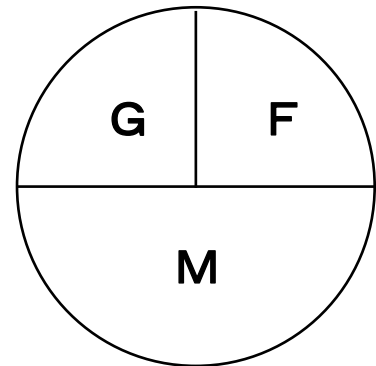
- 国民負担率は低い。
- 家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会。



政府(G)依存型

スウェーデン

- 国民負担率は高い。
- 政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会。



市場(M)依存型

アメリカ

- 国民負担率は低い。
- 福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会。(高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある)

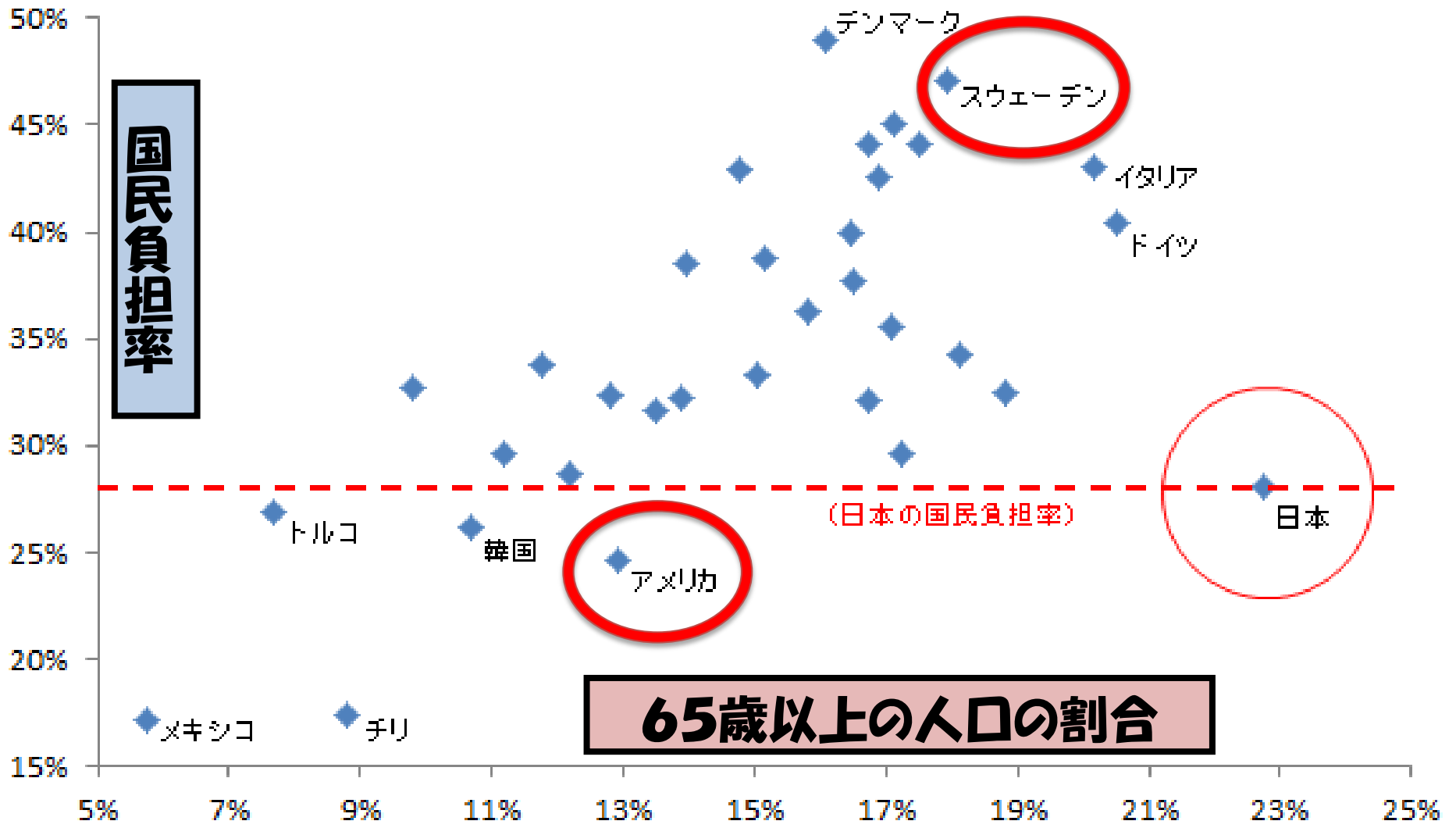
3

“社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION

高齢化率とGDP比国民負担率（2009年）



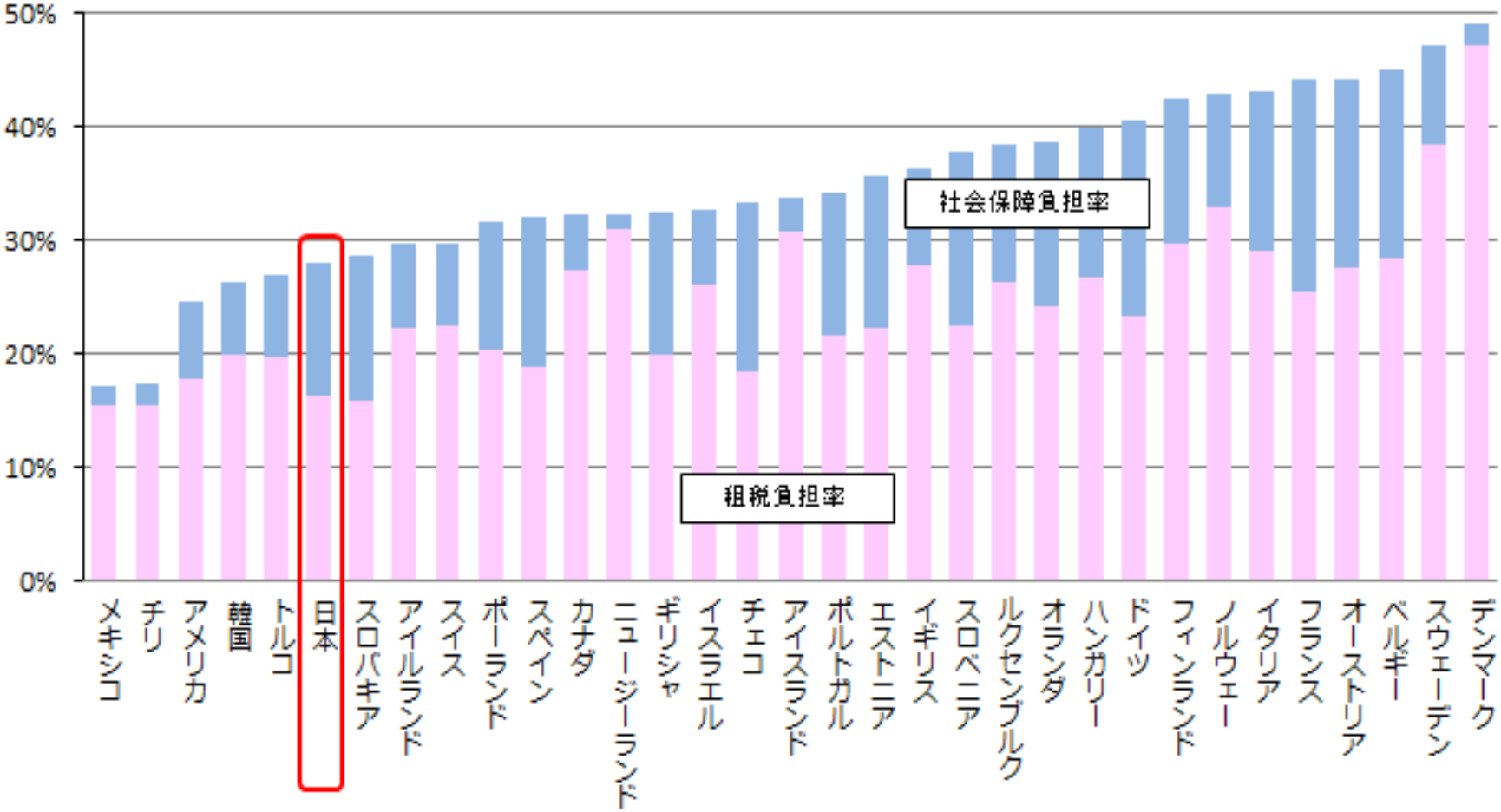
3

“社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION

GDP比国民負担率（2009年）



3

“社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION



日本は伝統的に家族(F)、特に女性の無償労働に頼むところが大きく、社会進出にも影響を及ぼしたとされています。一方、税などの国民負担は比較的低く抑えられてきました。

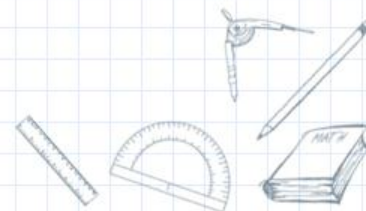
3 “社会保障”の在り方を考えよう。



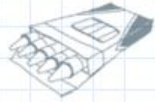
PRESENTATION

日本、スウェーデン、アメリカと、3つの社会保障制度の形を見てきました。みなさんは、“3つの形”の中で、どの仕組みが良いと考えますか？

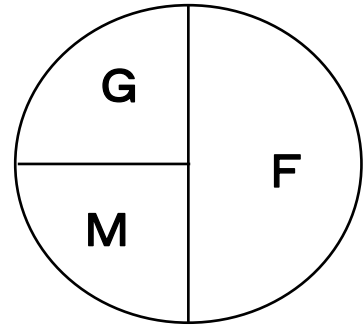
グループで考えてもらう前に、それぞれの「問題点」を整理しておきましょう。



3 “社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION



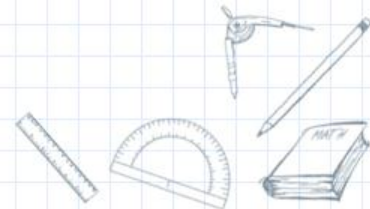
家族(F)依存型

日 本

- 国民負担率は低い。
- 家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会。

問題点は...

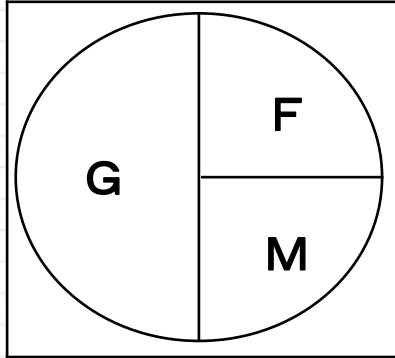
「家族」の負担が精神的にも、経済的にも大きく、いわゆる“介護疲れ”が発生する可能性がある。



3 “社会保障”の在り方を考えよう。



PRESENTATION



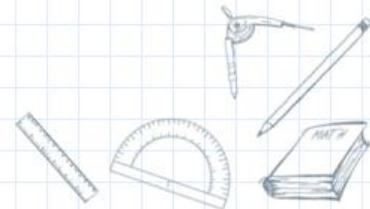
政府(G)依存型

スウェーデン

- 国民負担率は高い。
- 政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会。

問題点は...

国民の負担が大きく、“もっと稼いでやろう！”という意欲が失われてしまう可能性もある。



3

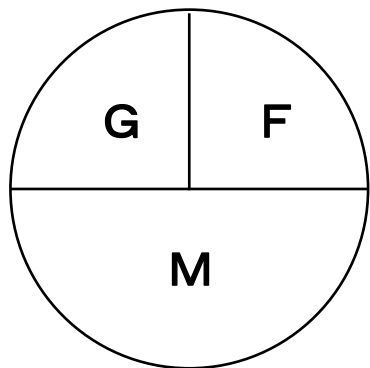
“社会保障”の在り方を考えよう。



市場(M)依存型

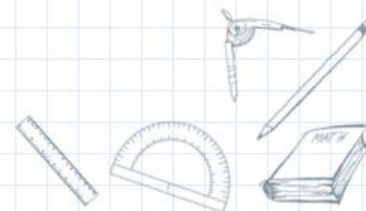
アメリカ

- 国民負担率は低い。
- 福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会。(高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある)



問題点は...

高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともあるなど、格差が生じる。



3

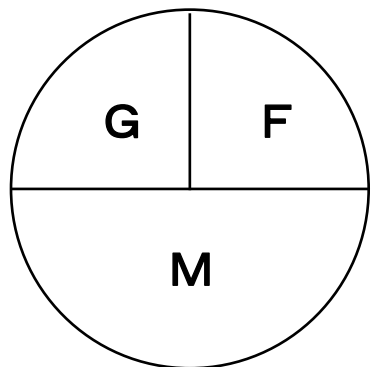
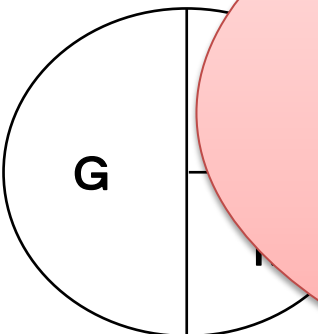
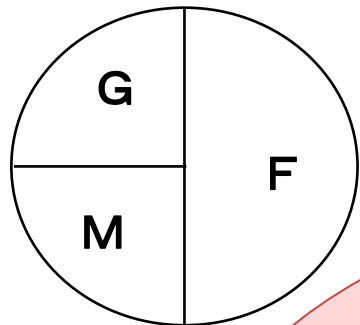
“社会保障”の在り方を考えよう。



家族(F)依存型

日本

「家族」の負担が精神的にも、経済的にも大きい可能性がある



市場(M)依存型

アメリカ

高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともあるなど、格差が生じる。

みなさんは、どの制度が望ましいと考えますか？

“...う！”
...ある。

PRESENTATION

日本、スウェーデン、アメリカと、3つの社会保障制度の形を見てきました。それぞれの制度には、良い面も、問題点もありました。

日本は現在、家族(F)依存型ですが、少子高齢化が進むなど、日本社会が変わる中で、どのような在り方が望ましいのか、“私たち自身の課題”として考えていくようにしましょう。